

表4.2.5 複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類

樹脂 外観 触媒	アクリル系			シリカ系	ポリウレタン系			アクリルシリコン系			ふっ素系		
	つやあり	つやなし	メタリック	つやなし	つやあり	つやなし	メタリック	つやあり	つやなし	メタリック	つやあり	つやなし	メタリック
溶剤	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
弱溶剤	○	○	—	—	○	○	—	○	○	—	○	○	—
水系	○	○	—	○	○	○	—	○	○	—	○	○	—

凡例 ○印：選択可能、—印：選択不可  
 (注) つやなし及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材及び可とう形改修塗材には適用しない。

表4.2.6 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法

種類	仕上げの形状	工法 <sup>(注)1</sup>	所要量 (kg/m <sup>2</sup> ) <sup>(注)2</sup>	塗り回数 <sup>(注)3</sup>	
外壁用 塗膜防水材	凹凸状 凸部処理	吹付け	プライマー	0.1以上	1
			下地挙動緩衝材 <sup>(注)4</sup>	0.5以上	1
			増塗材 <sup>(注)5</sup>	0.5~1.0	1
			アクリルゴム系塗膜防水材 <sup>(注)6</sup>	1.7以上	1
			模様材 <sup>(注)7(注)8</sup>	0.3以上	1
	ゆず肌状 ざざ波状	ローラー	外壁用仕上塗料 <sup>(注)9</sup>	0.25以上	2
			プライマー	0.1以上	1
			下地挙動緩衝材 <sup>(注)4</sup>	0.5以上	1
			増塗材 <sup>(注)5</sup>	0.5~1.0	1
			アクリルゴム系塗膜防水材 <sup>(注)6</sup>	2.0以上	2~3 <sup>(注)10</sup>
		外壁用仕上塗料 <sup>(注)9</sup>	0.25以上	2	

(注) 1. 工法欄の吹付け及びローラーは、防水材及び模様材の塗付けに適用する。  
 2. 所要量は、単位面積当たりの各材料（希釈する前）の使用質量とする。  
 なお、表の所要量は、2回塗りの場合、2回分の使用質量を示す。  
 3. 塗り回数は、外壁用塗膜防水材の製造所の指定による。  
 4. 下地挙動緩衝材の適用は特記による。ただし、ひび割れ幅は、0.2mm以上2.0mm未満とする。  
 5. 増塗りは、4.8.5(4)による。

6. アクリルゴム系塗膜防水材の所要量は固形分が75%である材料の場合を示しており、固形分がこれ以外の場合にあっては、所定の塗膜厚を確保するように所要量を換算する。
7. 模様材の種類と所要量は特記による。
8. 仕上げを砂壁状、じゅらく状とする場合の模様材の種類と所要量は特記による。  
 なお、この場合は、外壁用仕上塗料を省略する。
9. 外壁用仕上塗料の種類と所要量は特記による。
10. 仕上げの形状に応じ、適切なローラーを用いる。

### 3節 コンクリート打放し仕上げ外壁の改修

#### 4.3.1

##### 一般事項

この節は、コンクリート打放し仕上げ外壁の改修に適用する。

#### 4.3.2

##### ひび割れ部改修

外壁ひび割れ部から漏水している場合又はひび割れ部から錆汁がでている場合は、事前に監督職員と協議を行う。

#### 4.3.3

##### 欠損部改修

欠損部改修  
共通事項

- (1) 欠損部周辺のぜい弱部分は、ハンマー等で軽い打撃を与えて除去し、欠損部の状況を目視によって確認する。
- (2) 下地部分は、ワイヤーブラシ等でケレンし、汚れ、ほこり、油等の除去・清掃を行う。また、部分的に露出している鉄筋、アンカー金物等がある場合、監督職員と協議し、健全部が露出するまでコンクリートをはつり、ワイヤーブラシ等でケレンを行い錆を除去し、鉄筋コンクリート用防錆剤等を塗り付け、防錆処理を行う。
- (3) 損傷が著しい部分の下地処理、補強等は、監督職員と協議する。

#### 4.3.4

##### 樹脂注入工法

- (1) エポキシ樹脂注入の施工に当たり、使用した注入量を測定し、監督職員に報告し、必要に応じて、協議を行う。
- (2) 注入工法は、次により、種類は特記による。特記がなければ、自動式低圧エポキシ樹脂注入工法とする。  
 (ア) 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法  
 (イ) 手動式エポキシ樹脂注入工法  
 (ウ) 機械式エポキシ樹脂注入工法
- (3) 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法は、次による。  
 (ア) ひび割れに沿って幅50mm程度の汚れを除去し、清掃する。  
 (イ) 注入間隔は、特記による。特記がなければ、200~300mm間隔とする。  
 (ウ) 注入器具又は台座をひび割れが中心にくるようにして、仮止め

公共建築改修工事標準仕様書  
(建築工事編)  
平成31年版

令和元年6月1日 第1版第1刷発行

検印省略

定価(本体4,700円+税) 送料実費

監修 国土交通省大臣官房官庁営繕部  
編集 一般財団法人 建築保全センター  
発行 〒104-0033  
東京都中央区新川1-24-8  
電話 03(3553)0070  
FAX 03(3553)6767  
<http://www.bmmc.or.jp/>

©一般財団法人 建築保全センター 2019 印刷 河北印刷(株)

★無断での転載、複製を禁じます。

ISBN978-4-907762-51-3